

組合員とともに五島農業・地域の未来を拓く



ごとう



ごはんちゃん©

※4 ページ掲載 トマトビニールハウス巡回

CONTENTS 目次

☆TOP NEWS

育種組合ミニ現地検討会
肉用牛生産振興大会

③ フレッシュミズ部会親子教室
三井楽地区ミニデイサービス

④ 今月の作物部会だより

⑥ 第5回JAごとう杯少年フットサル大会

⑦ 第3回JAごとう杯少年ソフトボール大会

3 月号

JA ごとう
2020 No. 169

繁殖牛5000頭達成間近

五島和牛育種組合三二現地検討会

二月十八日。五島育種組合は五島家畜市場で現地検討会を開きました。公益社団法人全国和牛登録協会職員らが、県基礎牛五頭の育種牛認定候補牛、さらに「こおしげ系」「こふまつや系」の系統雌牛群の各四頭を調査しました。

五島和牛育種組合の橋詰覚組合長は「繁殖牛五〇〇〇頭を見据えながら生産者の方々には飼養管理に努めてほしい。皆さんの協力を得ながら達成していきたい」と冒頭の挨拶で語りました。

現地検討会後の全体討議で公益社団法人全国和牛登録協会の穴田勝人専務理事は「産肉能力を高める交配、流行りの種雄牛を使った交配も必要だが、特色を固めたものを地域に残していくことが重要」と認定の意義を語り、引き続きこのような検討会を続けるよう呼び掛けました。

育種牛認定候補牛



県基礎雌牛

系統雌牛群



こふまつや系



こおしげ系

肉用牛 生産振興大会

二月十八日。五島家畜市場で令和元年度肉用牛生産振興大会を開催しました。『繁殖牛五〇〇〇頭』早期達成に向けて順調に増頭していることを報告し、生産者と関係機関が一体となって、目標を達成することを改めて確認しました。

繁殖牛飼養頭数は一月末現在で昨年度より六九頭多い、四九一三頭になりました。今後、令和二年度中に長年の目標である五〇〇〇頭を目指します。

計画当時の農家戸数は三七五戸で飼養頭数は三八一〇頭。現在、農家戸数は二八〇戸と当初から大きく減少していますが、畜産クラスター事業の活用等で目標達成まであと一歩というところまで来ています。

本大会では、五島家畜市場高価格販売者の表彰、また講師をお招きし講演及び意見交換会を開催しました。



講演の様子

アイシングクッキー作り

—フレッシュミズ部会親子教室—

2月8日、11日。フレッシュミズ部会は親子教室を開き、アイシングクッキー作りをしました。親子で協力しながら楽しく和やかな教室となりました。

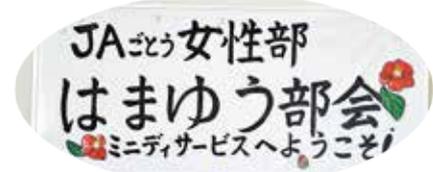
アイシングクッキーは粉糖とメレンゲパウダーを混ぜたものに色を付け、事前に用

意しておいたクッキーに絵を描いていきます。思うように理想の色が作れず、手こずる場面もありましたが、最後にはカラフルでいろいろな種類のアイシングクッキーが出来上がりました。



充実した時間過ごす

—三井楽地区ミニデイサービス—



二月二十日。女性部助け合い組織はまゆう部会は三井楽公民館でミニデイサービスを開催しました。参加したお年寄りは部会員とともに頭の体操やレクレーションなどをして楽しい時間を過ごしました。

会に先立ち同部会の片山染子部会長は「短い時間ですがみんなで楽しみましょう」と挨拶。今回は新しく『米袋のエコバック作り』に挑戦し、参加者は部会員に教えてもらいながら丈夫なバックが完成し、「これで買い物に行こうか」と笑顔を浮かべていました。

今後に向けて意見交わす

—令和元年度中玉トマト品種選定協議会—

二月四日。JAごとうトマト部会は令和元年度中玉トマト品種選定協議会を開きました。『五島ルビー』の銘柄確立に向け、部会、関係機関で意見を交換し合うことを目的に、初めての開催となります。

会の前には大阪中央青果、京都青果、全農ながさきの担当者、JA営農担当者が各生産者のビニールハウスを巡回し、生育状況を確認しました。

今年度は『五島ルビー』で知られる『華クイン』『華おとめ』に加え、『シンディースイート』『フルテイカ』を新しく栽培しています。一月末までに六一・三二四トンを出荷。今年度より新しく作付けしているものは新商品の『五島ミデイ』として販売しています。

JAごとうのブランド産品である『五島ルビー』、また新商品の『五島ミデイ』の今後の栽培管理、販売方法などの協議が行われました。生産者が自信をもって商品を出せるように、『五島ルビー』の選定基準については引き続き、部会で話し合われていきます。



ビニールハウス巡回



4月の茶摘みに向けて

—JAごとう茶生産部会春期研修会—

二月二十日。茶生産部会は本店二階会議室で春期研修会を開催しました。県茶業協会後継組織設立の報告の後、五島振興局より栽培講習がありました。

四月上旬の収穫に向けて春肥の施用を行っています。芽の動きのバラつきが見られ、摘採時期の決定が難しい状況となっていますが、大谷豊部会長は「暖冬ということもあり、遅霜の被害が心配されるため霜の対策が重要」と話しました。一番茶収穫に向けて防霜対策をしっかりと行い、さらなる品質向上・収量アップを目指し取り組みます。

営農担当者は「三月に新しく設立される県茶業協会の後継組織で五島茶のPRをしたい」と意気込みました。

令和2年産春芽アスパラガス出荷会議

二月十七日。本店二階会議室で令和二年産春芽アスパラガス出荷会議を開きました。本年産アスパラガスは栽培戸数二九戸で三四八㊦を栽培。

三度の台風の影響を受け、浸水による立枯れ、斑点病の多発した圃場もありましたが、被害は最小限に抑えられました。年末は気温が暖かく推移し、黄化が進まず全刈り作業が思い切れない状況でした。保温開始は二月中旬、出荷ピークは三月下旬から四月上旬頃と予想されます。今年度産は一・二二kg（前年比一一・〇パーセント）の出荷を計画します。

令和2年産早出し馬鈴薯出荷会議

二月十八日。本店二階会議室で令和二年産早出し馬鈴薯出荷会議を開きました。本年産馬鈴薯は栽培戸数二五戸で一・〇六t（前年比八二パーセント）を栽培。品種構成についてはデジマ三〇六㊦、ニシユタカ六〇〇㊦、さんじゅう丸二〇〇㊦となっています。

定植時期に降雨が少なく例年に比べて一週間から十日遅い定植となりましたが、発芽は良好。その後の生育も順調でした。霜の被害もなく暖冬により二年連続の大玉傾向です。

商品性向上と出荷対策として、出荷見込み数量を把握し計画出荷・定期的な目揃い会の実施・栽培履歴の記載及び回収の徹底に努めます。今年度産は一七九・七t（前年対比七九パーセント）の出荷を計画しています。

令和2年産ハウスびわ出荷目揃会

二月二十六日。本店二階会議室で令和二年産ハウスびわ出荷目揃会を開きました。本年産のハウスびわは栽培戸数一三戸で一七四㊦を栽培。

施設の老朽化や高齢化等にて栽培が厳しい状況となっており、着房率は八〇・四パーセントと昨年より低い園地が一部ありました。温暖化の影響により進度の前進が見られましたが、早い花の充実・形質がよくなったことから昨年と同時期の出荷スタートとなる予定。計画にそった安定的な出荷を行うために、施設内の温度管理・水管理・加湿対策を徹底します。また急激な気温上昇に伴う障害果の低減対策を徹底し、食味の良い「長崎びわ」の出荷に努めます。

会では生産者とJA担当者、市場関係者が出荷規格を念入りに確認。九・四五トンの出荷を目指します。また、ふるさと納税の返礼品として五島産びわを取り扱うことも検討しています。



優勝は有川SSC、グリーンスター

(高学年の部)

(低学年の部)

—JAごとう杯少年フットサル大会—



二月十五日。奈良尾総合体育館で、第五回JAごとう杯少年フットサル大会を開催しました。

この大会は、地域社会に貢献するとともに、JA事業への理解、子育て中の若い世代のJAファン獲得を目的としています。

今回は下地区と上地区から五チームが参加。高学年の部と低学年の部に分かれて試合をしました。高学年の部は有川SSCが、低学年の部はグリーンスターが優勝しました。

そのほかの結果は次の通り。

▽高学年の部準優勝＝上五島SSC
低学年の部準優勝＝福江SSS



JAごとう杯スポーツ大会

高学年の部優勝 有川SSC



JAごとう杯スポーツ大会

低学年の部優勝 グリーンスター



協同の輪を広げ 自己改革を進めよう JAグループ情報共有運動

担い手に役立つ 営農技術や流通 盛りだくさん

購読のお申し込みはJAへ

購読料 1ヵ月 2,623円(税込)

THE JAPAN AGRICULTURAL NEWS
日本農業新聞
http://www.agrnews.co.jp

福江ドリームス連覇！

—第3回JAごとう杯少年ソフトボール大会—

二月二十二日。五島市中央公園多目的広場でJAごとう杯少年ソフトボール大会を開催しました。

本大会はJA事業の一環として地域社会に貢献するとともに、ソフトボールを通じ子供たちのスポーツ環境づくりと健全育成を基盤にフェアプレー精神を育むことを目的に開催され、今回で三回目となります。

冒頭の挨拶で橋詰覚組合長は「元氣よく楽しく優勝目指して最後まで戦ってください」と期待の言葉を述べました。

大会は小学生四年生以下（女子は高学年も出場可）で編成したチームを条件に実施。当JA管内から五チーム六十六名が参加。通常の試合では出場順番の少ない低学年が出場し、数々の好プレーを見せました。

優勝は前々回からの三連覇となる福江ドリームス。

準優勝は中五島少年ソフトボールクラブ、第三位は三井楽ドルフィーズという結果でした。



優勝した福江ドリームス



変わります！

新魚目支店

↓北魚目出張所へ

令和二年四月十一日（土）をもって、新魚目支店は上五島支店管轄の出張所へ移行します。名称は地域の皆様には親しみのある「北魚目」出張所となります。

①取扱業務

貯金全般、為替（取次のみ）、貸付（貯金担保、共済積立金担保のみ）

信用以外の事業については従来通り。

②営業について

金融店舗としては上五島支店の子店舗として、当面の間、現行通り平日は営業をいたします。

③変更による影響

取り急ぎ通帳やキャッシュカードの切替などお客様に願います。手続きはございませんが、やむなく口座番号が変更になる場合がありますので、口座をお持ちのすべてのお客様へ別途ご案内いたします。

新魚目支店に開設された口座は上五島支店へ移管されます。振込・振替の手続きの際の店舗名は新魚目支店ではなく上五島支店となりますので、ご注意ください。今後ご利用をお待ちしております。

野菜ソムリエ上級プロ

KAORUの

ベジタブルライフ

グリーンピース

～春を楽しむ未熟なお豆～

イラスト：小林裕美子

グリーンピースのプロフィール

【分類】マメ科エンドウ属

【原産地】中央アジア～中近東

【おいしい時期(旬)】春(1～6月)

【主な栄養成分】

タンパク質、糖質、食物繊維、

ビタミンB群・C、

カリウムなど

解説 KAORU

楽しみ方・食べ方のコツ



炊き込みご飯

サラダ

あえ物

炒め物

スープ

プチっとはじけるような食感を楽しもう

おいしいゆで方



1. さやから豆を取り出す
2. 大きめの鍋を使い、沸騰したたっぷりのお湯に塩を少し加えてゆでる。3～4分程度塩を入ると鮮やかに発色して甘さを引き立てる
3. 火を止める。粗熱が取れるまでゆで汁の中で冷ます
※ゆで汁ごと保存容器に移して冷蔵庫で保存する

冷まし方のポイント

翡翠(ひすい)のような色鮮やかな仕上がりが理想的。すぐに取り出すとシワシワに



水を細く流し入れて鍋全体を徐々に冷やす。急激な温度変化を与えない

ご飯を炊くときなどにさやも一緒に入ると香りや風味が増す



ゆでる際にだしを使ってご飯に混ぜるだけで手軽な豆ご飯に

そのまま炊き込んだりスープにすると、栄養成分も無駄なく摂取できる

生鮮物の利用

風味と色彩を生かしてご飯と一緒に炊き込む。バーゴンと炒めたり、バター煮にして肉料理の付け合わせに



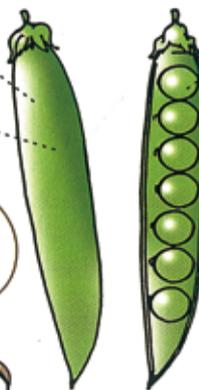
乾物(乾豆)の利用

いり豆や煮豆など砂糖で甘く煮る。うぐいす豆



見分け方

鮮やかな緑色
さや付きを選ぼう
さやから出すと乾燥して日持ちしない



豆の粒がふっくらとそろっている
丸くて張りがある

さやは食べずに中の豆だけを食用とする
ふっくらとしたさやの中に豆が並んで、7個前後入っている

皮が薄くて上品な風味と甘味。一般的なグリーンピースより粒が大きいよ



紀州うすい

保存方法

乾燥に弱い
保存袋などに入れて野菜室へ



生は鮮度が落ちやすい。すぐに食べない場合、塩ゆでして冷凍保存がお勧め

グリーンピースのチカラ

バランス良くさまざまな栄養素を含有

ミネラル
カリウム、亜鉛、銅、マンガン、鉄

ビタミン
B1・B2・B6・C
パントテン酸

食物繊維が豊富
野菜類の中でトップクラスの不溶性食物繊維も多く含まれ便秘の改善などに効果が期待できる



定番 豆ご飯

豊富に含まれるビタミンB群が豆ご飯など炭水化物の代謝を高めるため、効率的なエネルギー供給が可能

グリーンピースのヒミツ

季節を感じさせる爽やかな色と香り、ほのかな甘味が特徴



鹿児島県産などが1月から出荷の生鮮品は特産品

未熟



成熟

未熟な豆がグリーンピース、成熟するとエンドウ豆

古代エジプトや古代ギリシャで食べられていたよ



8～10世紀ころにインドや中国への平安時代には伝播(でんぱ)。辞書『和名抄(わみょうしよ)』野豆(のまめ)・和名(乃良末女(のらまめ))として紹介

安心・安全な農産物を!

—「産直市場五島がうまい」出荷協力会総会—

販売していきます。
心・安全な農産物を

は消費者にとって安
心・安全な農産物を

は出荷する上で、注
意すべき農薬の安全

使用、農産物の衛生
管理についての講習

がありました。
今後もし出荷協力会

は消費者にとって安
心・安全な農産物を

は出荷する上で、注
意すべき農薬の安全



二月二十六日。JAごとう『産直市場五島がうまい』は本店二階会議室で第一回目となる出荷協力会総会を開きました。会には約七十名と多くの出荷者が出席しました。冒頭の挨拶で山内会長は「皆さんが愛情を込めて作られた野菜・加工品等を島内はもとより島外にも多くアピールしていきたい」と挨拶しました。

クミアイ家庭薬ご愛用者の皆様へ

JAからのお知らせ

平素はクミアイ家庭薬をご愛顧・ご利用いただき、厚くお礼申し上げます。

さて、令和2年4月1日から組合家庭薬事業を「全農長崎県本部」より「協同薬品工業㈱」へ移管することとなりました。

「協同薬品工業㈱」は、クミアイ家庭薬の製造・販売を通じてJAグループの一員として組合員の皆様の健康管理活動の充実に貢献する目的のもと事業運営を行っている会社です。

なお、「協同薬品工業㈱」へ移管されましても、皆様のお宅への訪問巡回はこれまでどおり継続させていただきます。

今後とも、皆様方にご理解をいただき、地域の健康維持・増進のお手伝いをさせていただきます。より一層のご支援・ご協力を賜りますようお願い申し上げます。

2月29日、3月1日同時開催 電器・自動車合同ミニ展示会 レンタル着物展



たくさんのご来場ありがとうございました!!!

4年に一度の29の日

産直市場五島がうまいでは2月29日・
3月1日の2日間、五島牛や五島美豚の
特売を開催しました!!



未来を拓く協同組合 JAと農業

未来を拓く協同組合 JAと農業 監修=JCA (日本協同組合連携機構)

【組合員】としての役割発揮

JAは、組合員が一人では解決できない農業やくらしの困りごとを、他の組合員と力を合わせて解決するための組織です。そのためには、組合員同士で意見を出し合い、それをまとめることが必要となります。このような役割を「意思反映」や「運営参画」などと呼んでいます。しかし組合員になって間もない人がこうした役割を果たすのは容易ではありません。

そこでJAでは、組合員に対してまずは地域農業や協同組合、JAへの理解促進をはかり、その上でJA事業の複合利用や、さまざまな活動への参加を呼びかけています。さらに組合員の傾向や特性に合わせて、受け皿となる組合員組織(集落組織、支店運営委員会、年金友の会・共済友の会など)を整備しています。こうした多数の組合員が集まる「場」を通じて組合員の「意思反映」を図るとともに、その代表者による「運営参画」を進めています。

語句解説

【地域農業振興の応援団】(ちいきのうぎょうしんこうのおうえんだん)

JAグループは、准組合員を「地域農業や地域経済の発展を農業者と共に支えるパートナー」と位置付けています。地元産農畜産物の購入などによる「食べて応援」、援農ボランティアなどによる「作って応援」といった活動を促進し、正組合員だけでなく、准組合員も積極的な役割を果たす中での「農業者の所得増大」「農業生産の拡大」を目指しています。

組合員のメンバーシップ強化イメージ

アクティブ・メンバー

理事、組合員組織、支店運営委員等としてJA運営に参画

組合員組織等を通じてJA運営に意思反映

- 組合員組織、支店等の活動に複数参加
- 事業の複合利用

地域農業、協同組合、JAの理念を共有

JA加入・事業利用

准組合員の「地域農業振興の応援団」取り組みイメージ

- 作って応援
- 体験型農園
 - 直売所への出荷
 - 援農ボランティア

- 食べて応援
- 直売所で地元農畜産物を購入
 - 農業応援金融商品(農業応援貯金)
 - 農業まつり、支店まつり
 - 農業体験イベント
 - 直売所でのイベント

第28回JA全国大会決議(概要版)をもとに作成

耕そう、大地と地域のみらい。

令和元年度 第十一回理事会

次第

令和二年二月二十六日(水)開催

1 議案事項

- 議案No.1 一般貸倒引当金計上額の取扱いについて ※可決・承認された
- 議案No.2 直売所決算要領の変更について ※可決・承認された
- 議案No.3 内部監査規程の一部変更について ※可決・承認された
- 議案No.4 経理規程の一部変更について ※可決・承認された
- 議案No.5 役員選任要領(案)について ※可決・承認された
- 議案No.6 県常例検査指摘事項に対する改善報告について ※可決・承認された
- 議案No.7 取引のリスク評価書の定例改正について ※可決・承認された
- 議案No.8 系統債権管理回収機構(株)への債権売却について ※可決・承認された
- 議案No.9 借入金の審査及び理事の利益相反取引について ※可決・承認された
- 議案その他

報告No.3 産直市場「五島がうまい」一月末実績について

報告No.4 令和二年一月末食肉販売実績について

報告No.5 令和二年一月～二月期県内家畜市場市況について

報告No.6 令和元年度五島産素牛枝肉共励会成績について

報告No.7 固定資産の入札結果について

報告No.8 リスク管理委員会の設置について

報告No.9 令和元年度期末見込みについて

報告No.10 令和元年度十二月末資産自己査定結果について

報告No.11 令和元年度第三回債権管理委員会の結果について

報告No.12 令和元年度第三四半期コンプライアンス・プログラム実践状況について

報告No.13 令和元年度第三四半期自主検査結果とりまとめについて

報告No.14 令和元年度第三四半期相談・苦情等の対応状況について

報告No.15 令和元年度第2・3四半期余裕金の運用状況について

報告No.16 反社会的勢力排除対応管理先対応状況について

報告No.17 貸付金の実行について

報告その他

2 報告事項

- 報告No.1 主な事業経過と行事予定について
- 報告No.2 主要事業一月末計画と実績について
- 報告その他

広報誌2月号のお詫び訂正について

広報誌2月号の8ページ「第13回五島産素牛枝肉共励会」の結果の表に誤りがありました。下記の通りお詫びと訂正させていただきます。申し訳ございませんでした。

8ページ表3列目 誤) 阿野 信夫



正) 河野 信夫

編集後記

3月に入りました。春もすぐそこまで来ています。皆さんはどのようにお過ごしでしょうか?世界的に新型コロナウイルスが流行っており心配は大きくなる一方ですが、手洗いうがいや除菌を心がけましょう。

2月は上地区でフットサル大会、下地区でソフトボール大会が開催されました。出場した選手の皆さんお疲れ様でした。優勝したチームの皆さんおめでとうございます。普段の練習の成果を発揮し、プレーすることができましたか?嬉しい思いをした人、悔しい思いをした人、どちらも今後に繋げることができる大会になっていればと思います。

(田口 愛望)

かんころ餅作り

—魚目小学校 食農教育活動—

1月29日。上地区営農経済生活センターは食農教育活動の一環として魚目小学校の児童とかんころ餅を作りました。魚目小学校は今年度イモの定植から収穫までを行っています。

収穫したものを使って地元農家の山本宗夫さんに指導を受けながらおいしいかんころ餅を完成させました。



施設作業員募集

作業期間	作業場所
3月～11月	育苗センター
3月～10月	アスパラ選果場
12月～5月	ブロッコリー選果場
12月～3月	高菜加工施設

詳細は本店 農産園芸部までお問い合わせください。
☎0959-72-6214

富江トマト選果場作業員募集

作業期間	9月中旬～6月中旬
作業場所	山手トマト選果場 (富江ライスセンター横)

詳細は富江支店 営農経済課までお問い合わせください。
☎0959-86-2111

葬儀のことなら誠意と真心で奉仕する



株式会社JAごとう葬祭
斎場 浄倫会館

事前相談受け付けております。

【本店】

〒853-0041 長崎県五島市籠淵町2450
TEL 0959(72)8211 FAX 0959(74)5266

【上五島支店】

〒857-4404 長崎県南松浦郡新上五島町青方郷355-7
TEL 0959(52)2417 FAX 0959(43)1955



産直市場

五島がうま。

料金を変更
しました。

住所：〒853-0041 五島市籠淵町2450番地1
電話：0959-88-9933 FAX：0959-88-9922

営業時間：9時～19時（4月～9月）
9時～18時30分（10月～3月）

※農家レストランは10時30分～15時（予約については別途）

※土日限定バイキング 11時～15時

料金 大人：1,100円 子ども：620円（小学生以下）

定休日：原則年中無休